

図表1-3-4. 各国の保育サービス対比一覧表

指標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
達成された1年間の50%有給の育児休暇の育児の数	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スウェーデン	9	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイスランド	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デンマーク	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フィンランド	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
フランス	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ノルウェー	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ベルギー	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンガリー	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ニュージーランド	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スロヴェニア	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オーストリア	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オランダ	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イギリス	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドイツ	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イタリア	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポルトガル	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大韓民国	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メキシコ	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スペイン	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スイス	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アメリカ合衆国	3	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オーストラリア	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カナダ	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アイスランド	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計	126	6	19	13	15	20	12	6	10	8

The child care transition A league table of early childhood education and care in economically advanced countries(2008) UNICEF p8

上記一覧表は、25のOECD加盟国について、国際的に通用する指標、すなわち子どもの権利を保障するための保育サービスを評価する最低基準により各国の現状を比較したものである。10の指標のうち、1-2は政策的枠組み、3-4は手段、5-6-7-8は保育の質、9-10は支援状況に関わるものである。

保育士の主な職務内容

A 養護

	項 目	内 容
養 護	登所時健康観察	・顔色、機嫌の観察 ・保護者との連携 ・連絡ノートのチェック
	保育室の環境調整	・採光、室温、湿度、騒音のチェック ・危険物のチェック
	排泄	・オムツの交換 ・パンツの履き替えへの援助 ・オマルへ誘導援助 ・トイレの始末 ・オマルの始末 ・汚れの始末 ・下着の整理と確認 ・便の状態をチェックと記録 ・沐浴 ・洗濯
	手洗い（5回以上）	・洗面所への誘導 ・手洗いの確認と指導 ・お手拭タオルの確認
	調乳 授乳	・調乳室の整備 ・湯沸しと温度調節 ・個々の子どもの分量確認 ・授乳（語りかけ）・量の確認と記録 ・個々の授乳時間チェック ・哺乳瓶の洗浄と消毒
	水分補給	・お茶を用意する ・個々のコップに入れる ・量を確認 ・コップの片付け ・机や椅子の配置
	おやつ準備 （1～2回）	・机や椅子の配置 ・調理室から運ぶ ・配膳 ・アレルギー等への配慮 ・食べた量を観察、記録 ・片付け
	食事	・机の配置と配膳準備 ・調理室から運ぶ ・配膳（個別チェック） ・離乳食への配慮（砕く、つぶす） ・個々の離乳食の内容確認 ・意欲を持って食事ができるよう言葉かけ ・個々への介助と状況を確認 ・残量のチェックと記録 ・片付け（机、床の清掃）・残量確認 ・調理室へ運ぶ ・調理員との連携
	着替え （2～3回）	・汗や汚れの確認 ・着替え用衣服の枚数確認 ・衣服の着脱の援助 ・午睡前後の着替え ・洗濯 ・個別袋へ入れる ・個別連絡 ・汗を拭いてあげる
	午睡	・部屋の掃除 ・布団敷き ・個別誘導 ・添い寝、語りかけ ・うつぶせ寝のチェック ・個々の記録 ・布団の片付け
	保育室、園庭の清掃	・掃く、拭く（机、床他） ・水やり
	ケガ等の応急手当	・応急手当 ・保健室へ誘導
その他	・ 乾布摩擦 ・身体測定 ・危険箇所のチェック ・靴を履かせる ・沐浴 ・洗面所、トイレ点検 ・その他の洗濯 ・整理整頓	

B 主な保育内容（保育士の援助事項）

健康	<p>戸外で遊ぶ</p> <p>運動遊び</p> <p>健康</p> <p>安全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に遊ぶ ・子どもの様子を観察 ・ハイハイを促す ・遊具の準備 ・遊具と一緒に遊ぶ ・健康への気づき・手遊びをする・一緒に遊ぶ ・遊びの援助 ・清潔の習慣 ・手洗いの習慣・子どもの1日の生活の流れを考える ・乾布摩擦の習慣 ・歯磨の習慣 ・安全についての気づきを促す ・避難訓練の計画と実施
人間関係	<p>集団遊び</p> <p>当番活動</p> <p>地域社会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム、ごっこあそび等の計画と実施・子ども同士のやり取りの仲立ち ・決まりやルールを知らせる ・異年齢の遊びの援助 ・けんかの仲立ち ・充実感が味わえるような言葉かけ ・達成感の味わえる機会を工夫 ・共同での活動の機会を工夫 ・飼育栽培活動の計画実施・給食当番活動の計画実施・その他の当番活動の計画実施 ・決まりを守ることへの意識づけ ・高齢者との関わりの機会をつくる ・外国人とのふれあいの機会をつくる ・家族の一員としての意識を高める ・地域の人たちとの関わりの機会をもつ
環境	<p>自然体験</p> <p>社会体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園へ行く ・散歩の援助 ・落ち葉や木の実で遊ぶ経験をさせる ・四季の花で遊ぶ ・小動物や植物の飼育、栽培 ・水、土、砂を使った遊びの経験 ・調べたり観察したりするように促す・命の尊さへの気づき・数量や図形に関心を持つように促す ・行事遊びの準備 ・公共施設見学等の計画、実践・社会の出来事を知らせる・働いている人々について知らせる ・国際理解への関心を促す
言葉	<p>絵本 ペープサート等</p> <p>子どもの会話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせの工夫 ・絵本の読み聞かせをする ・ペープサートをする ・ペープサート等教材を作る・言葉の美しさに気づく工夫（わらべ歌、手遊び、素話）・劇遊び ・ごっこ遊びの会話を促す ・子ども同士の会話の仲立ち ・安心して話せる雰囲気づくり ・発表の機会をもつ ・話し合いの機会をもつ ・劇遊び ・あいさつ ・生活経験に合わせた言葉のやりとり ・相手に分かるように話す援助
表現	<p>絵画 制作</p> <p>身体表現</p> <p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を選び準備 ・絵画や制作の経験をするための準備と実施 ・題材を選び実施するための工夫 ・道具の正しい使い方を知らせる ・季節の自然物を使った制作 ・リズム遊びを一緒にする ・模倣遊びを一緒にする・ピアノを弾く ・劇遊びをする ・歌を歌い楽しむ ・音楽を聴く ・楽器あそびを楽しむ ・楽器を製作し遊ぶ ・楽器を用意し、使う機会をつくる

	鑑賞	・感動を味わい伝え合う機会をつくる
環境構成	保育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びのためのコーナーをつくる ・壁面飾りを工夫する ・教材を子どもが取りやすいようなところに置く ・部屋の配置 ・園庭でのあそびの工夫 ・自然物や生き物を用意 ・栽培などの自然環境の整備 ・保育室のインテリアを工夫 ・雰囲気作りのための音楽を選曲 ・発達に即した玩具、遊具、用具の工夫 ・子どもの作品を掲示 ・教材、遊具の整備、後片付け

C 保育の計画及び評価

保育計画・評価	保育計画作成 記録 評価反省	<ul style="list-style-type: none"> ・保育計画（保育課程）立案と記入 ・指導計画（月間指導計画・週の指導計画・日案）作成 ・個人別指導計画作成 ・「保育計画作成のための話し合い」 ・出席簿の記入 ・個別記録作成 ・保育日誌記入 ・児童票の記入 ・健康記録作成 ・授乳、食事のチェック記録 ・指導計画に基づく評価、反省記入 ・クラス会議による評価、反省
---------	----------------------	--

D 会議・研修

会議・研修	会議	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議 ・打ち合わせ（朝・昼・夕） ・クラスごとの打ち合わせ ・年齢別会議 ・分掌別会議 ・対外的な会議に出席 ・園内職員研修 ・外部の職員研修 ・各種講習会 ・個人研究
-------	----	--

E 家庭との連携

家庭との連携	保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳の記入 ・送迎時の面談 ・家庭訪問 ・個人懇談 ・クラスだよりや園だより、各種たよりの作成 ・保護者会、懇談会開催 ・育児相談 ・保護者会主催行事に参加 ・電話による連絡
--------	---------	---

G 地域連携、地域子育て支援

地域連携	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事参加 ・自治会との懇談 ・地域の公的機関との懇談や活動への参加 ・
地域子育て支援	地域子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・出前保育 ・保健センターとの連携 ・井戸端会議参加 ・地域子育て支援センター行事参加 ・一時保育 ・相談業務

H. 事務

事務	事務	<ul style="list-style-type: none"> ・一般事務（庶務） ・集金 ・通信発送 ・教材選定と注文 ・印刷
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・園の整備（清掃） ・園行事の準備と整備 ・パート職員との連携 ・調理員、看護師との連携 ・教材研究 ・作品展示 ・誕生会等各種行事の計画、準備 ・着替え（保育士） ・各種会議や研修に出張 ・家庭訪問

(5) まとめ

ここから分かるように、保育士は日常非常に多くの業務をこなさなければならない。近年、「子ども一人ひとりを大切にしたい保育をする」ことが重要とされ、そのために保育士は養護面においても教育面においても様々な工夫をして保育しているのである。例えば、それぞれの子どもの状況を把握するため、保育中にメモをとり、後で記録に記入する作業をしていた。保育内容では、遊びのなかで保育士が個々の子どもに語りかけながら、子どもと一緒に遊び、援助している。こうして子どもの状況を把握し

後で記録したり連絡帳に書いたりしているのである。このようななかから保育の質は向上していくのであるが、それと共に保育士の業務は増えていくようである。

さらに、子育て支援に関わる内容も加わり、保育士の職務は広がりが増すばかりである。今後は、業務については保育士間の連携や役割分担を明確にする必要があるだろう。

「保育室の人的環境に関する調査」

本調査の集計は、コンピュータにより統計的に処理し、個別名をあげて報告はいたしません。調査にご協力いただいた方にご迷惑をかけないよう万全の注意を払います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

A あなたの勤務する保育所のことについてお伺いします。

Q1. 保育所（園）の所在地 () 都・道・府・県 () 市・町・区

Q2. 保育所（園）の設置主体 1. 公立 2. 私立

Q3. 定員と4月2日現在と調査票記入日現在の在籍数及び保育士数をご記入ください。

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
定員 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
配置されていた保育士数 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
障害児等の加配の人数 (平成20年4月2日現在)	人	人	人	人	人	人
在籍児数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人
配置されている保育士数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人
障害児等の加配の人数 (調査票記入日) 月 日現在	人	人	人	人	人	人

Q4. 0、1、2歳児のクラスは、どのような年齢構成になっていますか。記入日現在でお書きください。

(○印を付け、具体的にクラス数と担当保育士数をお書きください。)

- 年齢ごとにクラスを設定している (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
- 0、1歳児の混合のクラスとなっている (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
- 1、2歳児の混合のクラスとなっている (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
- 0～2歳児まですべてが混合のクラスである (クラス数 クラス) (担当保育士の全数 人)
- その他 () (担当保育士の全数 人)

Q5. 0、1、2歳児が使用している保育室は、どのような年齢構成で使用されていますか。

(○印を付け、具体的に部屋の数をお書きください)

- 年齢ごとの保育室がある (保育室の数 部屋)
- 0、1歳児の混合の保育室がある。 (保育室の数 部屋)
- 1、2歳児の混合の保育室がある。 (保育室の数 部屋)
- 0～2歳児まですべての混合の保育室がある。(保育室の数 部屋)
- その他 ()

Q6. 園（所）の開所時間と閉所時間をお書きください。 開所 時 分 ～ 閉所 時 分

あなたが1歳児クラスで担当されている保育についてお尋ねします。

Q1. 1日のうちで、あなたが特に「忙しい」と感じる活動はどれですか。3つ選んでください。

- | | | |
|--------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 登園 (所) 前の掃除・片づけ | 2. 登園 (所) 時の子ども対応 | 3. 登園 (所) 時の保護者対応 |
| 4. 午前の遊び | 5. 午後の遊び | 6. 食事 (授乳を含む)の援助 |
| 7. おやつへの援助 | 8. 午睡の援助 | 9. 排泄の援助 |
| 10. 着脱の援助 | 11. 清潔 (沐浴、清拭等) 面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ |
| 13. 連絡帳の記入など記録 | 14. 降園 (所) 時の子ども対応 | 15. 降園 (所) 時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ | 17. 降園 (所) 後の掃除・片づけ | 18. その他 () |

Q2. あなたが、保育者がもっと多いほうがよいと感じる活動はありますか。

1. はい 2. いいえ

↓

「はい」と答えた方は、そのように感じる活動のすべてに○をつけてください (複数回答可)。

- | | | |
|--------------------|----------------------|--------------------|
| 1. 登園 (所) 前の掃除・片づけ | 2. 登園 (所) 時の子ども対応 | 3. 登園 (所) 時の保護者対応 |
| 4. 午前の遊び | 5. 午後の遊び | 6. 食事 (授乳を含む)の援助 |
| 7. おやつへの援助 | 8. 午睡の援助 | 9. 排泄の援助 |
| 10. 着脱の援助 | 11. 清潔 (沐浴、清拭等) 面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ |
| 13. 連絡帳の記入など記録 | 14. 降園 (所) 時の子ども対応 | 15. 降園 (所) 時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ | 17. 降園 (所) 後の掃除・片づけ | 18. その他 () |

Q3 1歳児の保育者の数が今より多くなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。下記の項目について、

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

A群 子どもについて

- | | | | |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉 (喃語を含む) を発しやすくなる | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかかわりが多くなる | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める | +1 | 0 | -1 |

B群 保育士について

- | | | | |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具などの物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい | +1 | 0 | -1 |

Q4 保育をしていて、保育者がもっと少ない方がよいと感じる活動はありますか。

1. はい 2. いいえ

↓

「はい」と答えた方は、そのように感じる時間帯すべてに○をつけてください（複数回答可）。

- | | | |
|------------------|--------------------|------------------|
| 1. 登園（所）前の掃除・片づけ | 2. 登園（所）時の子ども対応 | 3. 登園（所）時の保護者対応 |
| 4. 午前の遊び | 5. 午後の遊び | 6. 食事（授乳を含む）の援助 |
| 7. おやつへの援助 | 8. 午睡の援助 | 9. 排泄の援助 |
| 10. 着脱の援助 | 11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助 | 12. 延長保育への引き継ぎ |
| 13. 連絡帳の記入など記録 | 14. 降園（所）時の子ども対応 | 15. 降園（所）時の保護者対応 |
| 16. 保育中の掃除・片づけ | 17. 降園（所）後の掃除・片づけ | 18. その他（ ） |

Q5 1歳児の保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思われますか。下記の項目について、

今よりも以下の文のようになると思われる場合は「+1」、

今と変わらないと思われる場合は「0」、

に○印をつけてください。

むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる場合は「-1」、

A群 子どもについて

- | | | | |
|-------------------------|----|---|----|
| 1. 食事を楽しむことができる | +1 | 0 | -1 |
| 2. 睡眠など適切な休息をとれる | +1 | 0 | -1 |
| 3. 清潔を保つ行動が増える | +1 | 0 | -1 |
| 4. 身体的活動がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える | +1 | 0 | -1 |
| 6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる | +1 | 0 | -1 |
| 7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ | +1 | 0 | -1 |
| 8. 情緒が安定する | +1 | 0 | -1 |
| 9. 機嫌がよくなる | +1 | 0 | -1 |
| 10. 集中して遊ぶようになる | +1 | 0 | -1 |
| 11. 怪我が多くなる | +1 | 0 | -1 |
| 12. 子どもが疲れにくくなる | +1 | 0 | -1 |
| 13. 子ども同士のかかわりが多くなる | +1 | 0 | -1 |
| 14. 子どものかみつきが少なくなる | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士への関わりを多く求める | +1 | 0 | -1 |

B群 保育士について

- | | | | |
|------------------------|----|---|----|
| 1. 健康状態の把握がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 2. スキンシップをとりやすい | +1 | 0 | -1 |
| 3. 排泄の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 4. 食事の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 5. 睡眠の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 6. 清潔の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 7. 着脱の援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 8. 遊びの援助がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 9. 言葉かけがしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 10. 保育士同士の会話がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 11. 温度湿度の管理がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい | +1 | 0 | -1 |
| 13. 安全管理がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 14. 保育士のストレスがたまらない | +1 | 0 | -1 |
| 15. 保育士が疲れにくくなる | +1 | 0 | -1 |
| 16. 保育士の口調が柔らかくなる | +1 | 0 | -1 |
| 17. 保護者への対応がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 18. 保育の準備がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 19. 指導計画の立案がしやすい | +1 | 0 | -1 |
| 20. 子育て支援の業務がしやすい | +1 | 0 | -1 |

Q6 1歳児担当の保育者の人数について、あなたはどのようにお考えですか。

1. 今の人数がちょうどよい

2. 今より多いほうがよい

（具体的にどれくらい多いほうがよいですか。

今 _____ 人のところあと _____ 人）

3. 今より少ない方がよい

（具体的にどれくらい少ない方がよいですか。

今 _____ 人のところあと _____ 人）

Q7 4月頃の1歳児担当の保育者の人数について、今（調査時）と比べてあなたはどのようにお考えですか。

1. 今の人数がちょうどよい
2. 今より多いほうがよい
(具体的にどれくらい多いほうがよいですか。 今 _____ 人のところあと _____ 人)
3. 今より少ないほうがよい
(具体的にどれくらい少ないほうがよいですか。 今 _____ 人のところあと _____ 人)

Q8 あなたは、園内での業務のうち、次の事項にどのくらい時間をかけていますか。

1. 保育の準備（教材準備や環境構成など）（1日のうち _____ 時間）
2. 記録（1日のうち _____ 時間）
3. 指導計画（日案など）の立案（1日のうち _____ 時間）
4. 掃除などの環境整備（1日のうち _____ 時間）
5. その他（具体的に _____ ）（1日のうち _____ 時間）
6. 特定のテーマに基づく会議（1週間のうち _____ 時間）
7. 担当クラスでの会議（1週間のうち _____ 時間）
8. 園全体での会議（1週間のうち _____ 時間）
9. その他（具体的に _____ ）（1週間のうち _____ 時間）

Q9 充実した保育を展開するための人的環境を構成する上で、工夫している点についてご自由にご記入下さい。(自由記述)

Q10 最後に、あなた自身のことについてお尋ねします。

1. あなたのクラスでの役割分担は 1. リーダー 2. サブリーダー 3. その他
2. あなたは主任（それに準ずる園長を補佐する立場の人）ですか 1. はい 2. いいえ
3. あなたの就業（雇用）形態は 1. 常勤 2. 非常勤（フルタイム） 3. 非常勤（短時間）
4. 保育所の勤務年数の通算は
ア. 1年未満 イ. 1年以上5年未満 ウ. 5年以上10年未満 エ. 10年以上20年未満
オ. 20年以上30年未満 カ. 30年以上
5. あなたの性別は 1. 男 2. 女

ご協力、ありがとうございました。

1 歳児の保育士に対する調査結果（抜粋）

（4）保育士不足・保育士過多

「あなたが、保育者がもっと多いほうがよいと感じる活動はありますか。」と尋ねて、「はい」か「いいえ」で答えてもらったところ、「はい」という回答は77.3%(1512人)であった。これらの保育士に、「そのように感じる活動のすべてに○をつけてください（複数回答可）。」として、表3-1-3と同じ活動を示した。各活動が選ばれた割合を、その被選択率の高い順に示したものが表3-1-4である。

保育士不足を感じる活動の上位5つは、「食事（授乳を含む）の援助」、「排泄の援助」、「着脱の援助」、「午前の遊び」、「保育中の掃除・片づけ」であった。「食事（授乳を含む）の援助」は過半数、「排泄の援助」と「着脱の

援助」も3分の1以上の保育士が、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた。これらの活動は、保育士不足が深刻な結果を生むと考えられる。

なお、「午前の遊び」は、表3-1-3の上位5つに含まれていない。すなわち、忙しくはないが、保育士不足を感じる活動である。より充実したかかわりのために「保育士がもっと多い方がよい」と感じる活動なのである。

「保育をしていて、保育者がもっと少ない方がよいと感じる活動はありますか。」と尋ねて、「はい」か「いいえ」で答えてもらったところ、「はい」という回答は1.3%(25名)に過ぎなかった。保育士過多を感じている保育士はほとんどいないといえる。

表3-1-4 保育士不足を感じる活動

	被選択数	割合
6. 食事（授乳を含む）の援助	1038	68.7
9. 排泄の援助	800	52.9
10. 着脱の援助	681	45.0
4. 午前の遊び	448	29.6
16. 保育中の掃除・片づけ	406	26.9
2. 登園（所）時の子ども対応	365	24.1
11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助	298	19.7
8. 午睡の援助	286	18.9
15. 降園（所）時の保護者対応	257	17.0
13. 連絡帳の記入など記録	254	16.8
14. 降園（所）時の子ども対応	227	15.0
3. 登園（所）時の保護者対応	223	14.7
5. 午後の遊び	213	14.1
7. おやつ援助	147	9.7
12. 延長保育への引き継ぎ	104	6.9
18. その他	95	6.3
17. 降園（所）後の掃除・片づけ	79	5.2
1. 登園（所）前の掃除・片づけ	53	3.5

(6) 保育者の数が少ないことの影響

「1歳児の保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。」として、先と同じ子どもに関する内容の15項目、保育士に関する内容の20項目について、「今よりも以下の文のようになると思われる」、「今と変わらないと思われる」、「むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる」の3つから選んでもらった。

①子どもに対する影響

表3-1-7は、子どもに関する内容の15項目に対して、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。同様の分析を行い、期待値と実測値との差をフォントの大ききで示した。

「文のようになる」だけが有意に多かった項目は、「怪我が多くなる」と「保育士へのかわりを多く求める」の2項目であった。子

どもの怪我が多さは、保育者の数に大きく関係するといえる。「保育士へのかわりを多く求める」は、「保育者の数が今より多くなった場合」も「文のようになる」が有意に多かった。保育者の数の多少に関わらず、子どもは新しい場面で保育士へのかわりを多く求めるのかもしれない。

「逆の結果となる」だけが有意に多かった項目は「食事を楽しむことができる」、「睡眠など適切な休息がとれる」、「清潔を保つ行動が増える」、「身体的活動がしやすい」、「聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える」、「情緒が安定する」、「機嫌が良くなる」、「子どものかみつきが少なくなる」の8項目であった。これら8項目については、保育者の数が今より少ないことが子どもにとってマイナスの影響を与えると考えられる。

「変わらない」だけが有意に多く選ばれた項目はなかった。

表3-1-7 保育者の数が今より少なくなることの子どもの行動に対する影響 (%)

子どもについて	文のよう 変わらな 逆の結果		
	になる	い	となる
1. 食事を楽しむことができる	1.2	16.3	82.5
2. 睡眠など適切な休息をとれる	1.2	32.9	65.9
3. 清潔を保つ行動が増える	1.3	20.5	78.2
4. 身体的活動がしやすい	1.6	18.2	80.2
5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える	1.2	24.8	74.0
6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる	1.4	37.0	61.6
7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ	1.2	45.0	53.8
8. 情緒が安定する	1.4	13.4	85.2
9. 機嫌がよくなる	1.1	23.2	75.7
10. 集中して遊ぶようになる	2.7	36.0	61.4
11. 怪我が多くなる	69.2	11.2	19.5
12. 子どもが疲れにくくなる	6.3	54.2	39.5
13. 子ども同士のかかわりが多くなる	13.9	50.1	36.0
14. 子どものかみつきが少なくなる	8.6	16.3	75.1
15. 保育士への関わりを多く求める	43.2	28.7	28.2

②保育士に対する影響

表3-1-8は、保育士に関する内容の20項目に対して、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。同様の分析を行い、期待値と実測値との差をフォントの大きさを示した。

「文のようになる」だけが有意に多かった項目はなかった。

「逆の結果となる」だけが有意に多かった項目は、「健康状態の把握がしやすい」、「スキンシップをとりやすい」、「排泄の援助がしやすい」、「食事の援助がしやすい」、「睡眠の援助がしやすい」、「清潔の援助がしやすい」、「着

脱の援助がしやすい」、「遊びの援助がしやすい」、「言葉かけがしやすい」、「玩具・遊具など物的環境を管理しやすい」、「安全管理をしやすい」、「保育士のストレスがたまらない」、「保育士が疲れにくくなる」、「保育士の口調が柔らかくなる」、「保護者への対応がしやすい」、「保育の準備がしやすい」、「子育て支援の業務がしやすい」の17項目であった。保育者の数が今より少なくなることは、保育士の行動に多大な影響を与え、多くの業務に差し障りが出るといえる。

表3-1-8 保育者の数が今より少なくなることの保育士の行動に対する影響 (%)

保育士について	文のようになる	変わらない	逆の結果となる
1. 健康状態の把握がしやすい	2.2	20.1	77.7
2. スキンシップをとりやすい	2.2	12.0	85.8
3. 排泄の援助がしやすい	1.5	5.1	93.3
4. 食事の援助がしやすい	1.5	4.6	94.0
5. 睡眠の援助がしやすい	1.2	14.0	84.8
6. 清潔の援助がしやすい	1.2	11.0	87.8
7. 着脱の援助がしやすい	1.4	6.3	92.4
8. 遊びの援助がしやすい	1.4	10.6	87.9
9. 言葉かけがしやすい	2.2	25.7	72.1
10. 保育士同士の会話がしやすい	5.1	50.5	44.4
11. 温度湿度の管理がしやすい	1.1	53.5	45.3
12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1.3	25.5	73.3
13. 安全管理をしやすい	1.7	14.0	84.4
14. 保育士のストレスがたまらない	4.0	29.6	66.4
15. 保育士が疲れにくくなる	4.3	20.1	75.6
16. 保育士の口調が柔らかくなる	1.7	34.5	63.8
17. 保護者への対応がしやすい	2.3	25.3	72.4
18. 保育の準備がしやすい	1.9	12.9	85.2
19. 指導計画の立案がしやすい	2.3	38.5	59.2
20. 子育て支援の業務がしやすい	1.4	25.8	72.8

2 歳児の保育士に対する調査結果（抜粋）

（4）保育士不足・保育士過多

「あなたが、保育者がもっと多いほうがよいと感じる活動はありますか。」と尋ねて、「はい」か「いいえ」で答えてもらったところ、「はい」という回答は64.3%(1245人)であった。これらの保育士に、「そのように感じる活動のすべてに○をつけてください（複数回答可）。」として、表3-2-3と同じ活動を示した。各活動が選ばれた割合を、その被選択率の高い順に示したものが表3-2-4である。

保育士不足を感じる活動の上位5つは、「食事（授乳を含む）の援助」、「着脱の援助」、「排泄の援助」、「午前の遊び」、「登園（所）時の子ども対応」であった。「食事（授乳を含む）の援助」は過半数、「着脱の援助」と「排

泄の援助」も3分の1以上の保育士が、「保育士がもっと多い方がよい」と感じていた。これらの活動は、保育士不足が深刻な結果を生むと考えられる。

なお、「午前の遊び」は、表3-2-3の上位5つに含まれていない。すなわち、忙しくはないが、保育士不足を感じる活動である。より充実したかかわりのために「保育士がもっと多い方がよい」と感じる活動なのであろう。

「保育をしていて、保育者がもっと少ない方がよいと感じる活動はありますか。」と尋ねて、「はい」か「いいえ」で答えてもらったところ、「はい」という回答は1.6%(31名)に過ぎなかった。保育士過多を感じている保育士はほとんどいないといえる。

表3-2-4 保育士不足を感じる活動

	被選択数	割合
6. 食事（授乳を含む）の援助	637	51.2
10. 着脱の援助	484	38.9
9. 排泄の援助	470	37.8
4. 午前の遊び	356	28.6
2. 登園（所）時の子ども対応	353	28.4
16. 保育中の掃除・片づけ	314	25.2
15. 降園（所）時の保護者対応	280	22.5
13. 連絡帳の記入など記録	274	22.0
8. 午睡の援助	236	19.0
3. 登園（所）時の保護者対応	229	18.4
11. 清潔（沐浴、清拭等）面の援助	200	16.1
14. 降園（所）時の子ども対応	193	15.5
5. 午後の遊び	116	9.3
18. その他	116	9.3
17. 降園（所）後の掃除・片づけ	96	7.7
12. 延長保育への引き継ぎ	91	7.3
7. おやつへの援助	63	5.1
1. 登園（所）前の掃除・片づけ	45	3.6

(6) 保育者の数が少ないことの影響

「2歳児の保育者の数が今より少なくなるとすれば、子どもや保育士の行動にどのような変化が生じると思いますか。」として、先と同じ子どもに関する内容の15項目、保育士に関する内容の20項目について、「今よりも以下の文のようになると思われる」、「今と変わらないと思われる」、「むしろ以下の文とは逆の結果となると思われる」の3つから選んでもらった。

①子どもに対する影響

表3-2-7は、子どもに関する内容の15項目に対して、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。同様の分析を行い、期待値と実測値との差をフォントの大きさを示した。

「文のようになる」だけが有意に多かった項目は、「怪我が多くなる」と「保育士へのかわりを多く求める」の2項目であった。子

どもの怪我が多さは、保育者の数に大きく関係するといえる。「保育士へのかわりを多く求める」は、「保育者の数が今より多くなった場合」も「文のようになる」が有意に多かった。保育者の数の多少に関わらず、子どもは新しい場面で保育士へのかわりを多く求めるのかもしれない。

「逆の結果となる」だけが有意に多かった項目は「食事を楽しむことができる」、「睡眠など適切な休息がとれる」、「清潔を保つ行動が増える」、「身体的活動がしやすい」、「聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える」、「情緒が安定する」、「機嫌が良くなる」、「子どものかみつきが少なくなる」の8項目であった。これら8項目については、保育者の数が今より少ないことが子どもにとってマイナスの影響を与えると考えられる。

「変わらない」だけが有意に多く選ばれた項目はなかった。

表3-2-7 保育者の数が今より少なくなることの子どもの行動に対する影響 (%)

子どもについて	文のようになる	変わらない	逆の結果となる
1. 食事を楽しむことができる	1.2	25.1	73.7
2. 睡眠など適切な休息をとれる	1.2	35.3	63.5
3. 清潔を保つ行動が増える	1.4	22.2	76.4
4. 身体的活動がしやすい	1.6	21.5	76.9
5. 聞く見る触れるなど感覚を使う機会が増える	1.8	28.7	69.6
6. 言葉（喃語を含む）を発しやすくなる	1.3	39.4	59.2
7. 周囲の人やものに興味・関心をもつ	2.1	45.3	52.6
8. 情緒が安定する	1.5	18.1	80.4
9. 機嫌がよくなる	1.2	29.6	69.2
10. 集中して遊ぶようになる	2.6	41.1	56.3
11. 怪我が多くなる	66.3	15.2	18.5
12. 子どもが疲れにくくなる	5.8	59.0	35.2
13. 子ども同士のかかわりが多くなる	16.4	51.6	32.0
14. 子どものかみつきが少なくなる	7.6	22.6	69.8
15. 保育士への関わりを多く求める	41.6	31.0	27.4

②保育士に対する影響

表3-2-8は、保育士に関する内容の20項目に対して、各選択肢が選ばれた割合を示したものである。同様の分析を行い、期待値と実測値との差をフォントの大きさで示した。

「文のようになる」だけが有意に多かった項目はなかった。

「逆の結果となる」だけが有意に多かった項目は、「健康状態の把握がしやすい」、「スキンシップをとりやすい」、「排泄の援助がしやすい」、「食事の援助がしやすい」、「睡眠の援助がしやすい」、「清潔の援助がしやすい」、「着脱の援助がしやすい」、「遊びの援助がしやすい」、「言葉かけがしやすい」、「玩具・遊具など物的環境を管理しやすい」、「安全管理をしやすい」、「保育士のストレスがたまらない」、「保育士が疲れにくくなる」、「保護者への対応がしやすい」、「保育の準備がしやすい」、「子育て支援の業務がしやすい」の16項目であった。保育者の数が今より少なくなることは、保育士の行動に多大な影響を与え、多くの業務に差し障りが出るといえる。

助がしやすい」、「清潔の援助がしやすい」、「着脱の援助がしやすい」、「遊びの援助がしやすい」、「言葉かけがしやすい」、「玩具・遊具など物的環境を管理しやすい」、「安全管理をしやすい」、「保育士のストレスがたまらない」、「保育士が疲れにくくなる」、「保護者への対応がしやすい」、「保育の準備がしやすい」、「子育て支援の業務がしやすい」の16項目であった。保育者の数が今より少なくなることは、保育士の行動に多大な影響を与え、多くの業務に差し障りが出るといえる。

表3-2-8 保育者の数が今より少なくなることの保育士の行動に対する影響 (%)

保育士について	文のよう になる	変わらな い	逆の結果 となる
1. 健康状態の把握がしやすい	2.9	19.8	77.3
2. スキンシップをとりやすい	2.8	15.0	82.2
3. 排泄の援助がしやすい	1.5	9.5	89.0
4. 食事の援助がしやすい	1.5	8.0	90.4
5. 睡眠の援助がしやすい	1.5	15.3	83.2
6. 清潔の援助がしやすい	1.5	12.0	86.4
7. 着脱の援助がしやすい	1.8	8.6	89.6
8. 遊びの援助がしやすい	1.6	12.8	85.6
9. 言葉かけがしやすい	2.3	27.0	70.6
10. 保育士同士の会話がしやすい	5.9	49.5	44.6
11. 温度湿度の管理がしやすい	1.0	54.7	44.3
12. 玩具・遊具など物的環境を管理しやすい	1.3	25.9	72.8
13. 安全管理をしやすい	1.6	15.5	82.9
14. 保育士のストレスがたまらない	4.5	32.0	63.5
15. 保育士が疲れにくくなる	4.2	25.3	70.5
16. 保育士の口調が柔らかくなる	2.0	37.6	60.3
17. 保護者への対応がしやすい	2.3	25.2	72.5
18. 保育の準備がしやすい	1.8	13.4	84.8
19. 指導計画の立案がしやすい	2.6	39.2	58.1
20. 子育て支援の業務がしやすい	1.9	27.6	70.5

図表4-1 A保育園の観察記録

観察したクラス： 1歳児クラス
 児童の数： 15名
 保育士数： 3名（この3名を観察）

観察日時： 平成21年2月16日（月）【天候： 晴】
 9時00分～12時05分

	保育士A (観察者の都合によりデータなし)	保育士B おやつ準備(机をふく、配膳) 子どもの様子を見る 言葉かけ 3人 手洗いに誘う1人 「マンマ」もぐもぐをしてみせる ごちそうさまの言葉かけ1人 保育士Aと打ち合わせ	保育士C (観察者の都合によりデータなし)
9:00			
9:05	2人の園児にエプロンをつける エプロンがずれるので直す テーブルの8人を担当し、おやつ喫食状況を確認する おやつ喫食状況についてAとB打ち合わせ 園庭遊びの可否や、帽子、遊び終了時の足洗いの方法を 保育士Bと打ち合わせ		お茶の入ったコップを配る おやつを食べている様子を見ている 歯ブラシを配る 食べ終わった子から、歯ブラシで歯を磨いてあげる
9:10	おやつコップ、皿の片付けのため調乳室往復する 排泄を促し、トイレに誘う 1人 排泄介助1人 排泄のため脱いだ子のパンツ、ズボンを裏返し、調える 履くときに援助する 5人の子どもを順次園庭へ誘導する。 「5人でまーず」とAとCに声をかける 靴を履く援助 蚤早く園庭中央に立つ	歯磨き3人 トイレ、手洗い、ズボンをはかせる1人 戸外へ出る準備 帽子をかぶせる 4人	ぐずっている子に語りかけ、おやつを食べるようにうながす 歯ブラシで歯を磨く 食べ終わった子のお皿をかたづけ コップをかたづけ 歯を磨いた子にお茶を飲ませる
9:15	ズック履き援助 5人 ベランダから三輪車を園庭中央付近まで運ぶ 1台 子どもが三輪車に乗ったままの状態です背中を押す 2段の階段をおろし、園庭中央付近まで背中を押す ペタルの踏み方を伝える 背中を押して進ませる	戸外へ出る準備 帽子をかぶせる3人しながら女兒を だっこ。 靴下を脱がせる5人 おやつを食べているこのところに行く、声かけ2人 食べ終わると靴下を脱がせる 外へ出る準備をさせる 5人 食事をしていない子を見に行き3人	片付けしながら、おやつを食べている子に話しかける 歯ブラシで歯を磨き、お茶を飲ませる 終わった子、外へ行くように促す 下げたコップを洗い流しの臨みかたにつける 歯ブラシを片付ける テーブルをふく おやつのお皿を、一人の女の子と一緒に、調理室へ運んで片付けに行く
9:20	一人手をひき三輪車の子ども」の背中を押す	園庭遊び(三輪車で遊ぶ子6人と一緒に遊ぶ)	

	<p>砂場の子どもに近づき話かける 2人 2人のトラブルの仲親に入る 園庭で遊ぶ子どもを数える 砂場から門扉周辺に移動し、4人の子どもを園庭や砂場に誘導する 砂場に戻り、7人を見守る 話しかける 遊べない子に声をかける</p>		<p>園を外し、子どもに赤い帽子をかぶせて、園庭へ行く 部屋に戻り、中を確認する 部屋の中にいた子を抱いて、連れていく 靴をはかせ、手をひいてみんながいる砂場に連れて行く 園庭に散らばった子どもを探し、様子を見る 砂場で、子ども2人とすわりこんで一緒に遊ぶ</p>
9:25	<p>甘えてきた子をおんぶする 一人 しやがみこんで話を聞く 7人 7人と一緒に園庭内でやまを作り始める 立ち上がり子どもの数を確認 安全な位置にいるか体を移動させて確認 元に戻る</p>	<p>三輪車で遊ぶ子に声をかける6人 鼻をかんでやる1人 泣いている子を抱っこ</p>	<p>子どもの母親が来たので、その母親の対応のため部屋に入り、走って事務所のほうへ行く 母親と話したあと、園庭へ戻る ふらふらしている子に声をかけ、遊びに誘う 全体を見ながら、子どもへ声掛けしたり、遊んだりしている(2~3人を常に相手にしている) 座り込んで、2人と遊んでいる</p>
9:30	<p>砂場の道具を近くの子に配分する お茶を飲むまねをしてごっこ遊びの相手をする 7人に話しかける</p>	<p>三輪車で遊ぶ子について走る6人 子どもについて走る 輪を出してくる 輪で遊ぶ子と話す3人</p>	<p>遊び道具を持ってきたり、声掛けをして遊びに関わる 座り込んで、じっくり遊んでいる(子ども2人)</p>
9:35	<p>立ち上がり子どもの数と遊びを確認する シャベルやカップなど広がつた道具を片付ける 人数確認をする 子どもの数と遊びを確認する 帽子をかぶせなおしをする 園庭に広がった道具を片付ける 登園した子の視診をし、湿疹に気づく 近くの保育士に湿疹について相談する</p>	<p>輪で遊ぶ 泣いている女児を抱っこしながら 遊んでいる子に声をかける 7人</p>	<p>座り込んで、じっくり遊んでいる(子ども2人) ひとりの子を連れて部屋へはいる</p>
9:40	<p>三輪車に乗っている子どもの背中を押す 押しながら、安全な位置につれていく 不安そうな表情の子どもの手をつないで園庭一周する その子を園庭から使用できるトイレに誘導する</p>	<p>保護者1人と会話 子どもと対話2人 ボールを出してボール遊び</p>	<p>トイレの前で、ズボンを脱がせ紙パンツのままトイレの奥へ連れて行く エプロン、手袋をして、ウンチを漏らしてしまった子のおしりを御湯で洗浄をする タオルで、おしりをきれいにふき、エプロン、手ぶくろを外し、トイレの前で、紙パンツをはかせ、ズボンをはかせる 手をつないで、外に連れて行く 靴をはかせ帽子をかぶせる</p>

9:45	室内の保育士に声をかけ掛漕援助をお願いする 子どもの靴を抜かせてトイレへ誘導する 砂場に戻り、けんかをしている子の仲敷をする トイレ誘導した子どもについてもついて保育士と打ち合わせ 空園した子どもの顔色、態容について相談する	遊んでいる子ども一人ひとりと会話 6人 砂場に近寄る・・・砂場で遊んでいる子に声をかける	園庭で転んだ子の様子を、他の保育士とともに確認する 三輪車に乗る援助をする 戻り込んで、3人の子どもと関わりながら、他で遊ぶ子がどこにいるかを確認する ひとりの子どもを膝に乗せて語りかけている
9:50	散らばったシャベル、皿を片付ける 子どもの人数と遊びの確認をする ペランダの隅にいる子どもの相手をする 死角になる園庭の植え込み後方の子ども2人誘導する 保護者と子どもとの様子について話しあう。 (自分の体調を回復させるために保育室の一角で横にな って子どもを観察している保護者) 門扉付近のトランプルに気づき近づく 別の保育士が関わったのを見て砂場に戻る 三輪車に乗る子どもを背中を押して相違させる カメラを取りに保育室へ行く	砂場で遊んでいる子に声をかける3人 滑り台2人 砂場3人 ぼーる2人の様子を観察し必 要に応じて声かけ	押し車で遊ぶ子どもとおまごをすする子とに囲まれてい る(子ども4人→5人→6人と増えていく) ひとり、ずっと保育士の体に接触している子がいる (抱き付いたり、膝に乗ったり)
9:55	三輪車を通してのふれあいの様子をカメラで撮る (保護者通信用記録写真) 砂場に散らばった道具を片付ける 脱げた靴の持ち主を探す 人数と遊びの確認 何か不審な音を気にして周囲を探索する 園庭や園舎を回り確認している。 排泄時刻などについて打ち合わせ	鼻をかんでやる1人 トイレへ行きズボンを脱がす2人「でたかなあ」 トイ レの始末を確認 「手を洗ったかなあ」手洗いに誘う	2人の子とおまごをして 立ち上がり、園庭の隅にいる子のところに行く 声をかけながら、みんなのいるところに連れてくる 2人と手をつなぎ、園庭を散歩する ひとり膝に抱えて声をかけ、かわる 2人の子が来て一緒に遊ぶ 塵り姿勢
10:00	三輪車に乗る子どもを背中を押して相違させる カメラを取りに保育室へ行く	滑り台で遊んでいる子と関わる8人 一人ひとりに声 かけをする「順番ですよ」「そちらから来ると危ないで す」「並んでね」「すべれたすべれた」	ボールを持って来て、ボール遊びを始める ひとりぼっちになっている子がいないかどうか目を配 っている 塵り込んで子どもと遊ぶ 滑り台で遊んでいるところに行き、他の保育士の援助を する(10人ぐらい) 階段の上ること、踊り場で押ししたりしないことなど伝え ながら、体を支えたりしている 階段の下で遊び出す子に声をかける
10:05	遊びに加わらない女兒に話かける 電車ごっこを土ながら門扉付近の子に注意する 電車ごっこで園庭3周して砂場に戻る 人数と遊びの確認	滑り台で遊んでいる子と関わる8人 一人ひとりに声をかけをする「順番ですよ」「そちらから 来ると危ないです」「並んでね」「すべれたすべれた」 鼻をかむ1人 保育士と話す	滑り台での遊びが続く(2人の保育士が関わっている) 階段の下で、砂で遊び出す子に対応しながら、階段を上 る子の援助をしている
10:10	鼻汁拭き 砂場の道具片付け 人数と遊びを確認する 植え込みの後方で遊ぶ3人を砂場や、園庭中央に誘う	トランプルの仲立ち4人 (車2台の取り合い) もう一つ あるよと言って渡してやる 遊びを見守る 車、砂場、三輪車	滑り台での遊びが続く(2人の保育士が関わっている) 階段側の援助をしている

	脱げたズック2足を拾い、二人に譲らせる 鼻拭き 靴について他保育士と話す			
10:15	滑り台そばで援助 8人 体の向きを代えて人数と遊びを確認 滑り台の途中でトラブル子の仲裁 鼻拭き	順番に滑り台をすべるよりに促す9人 「順番ですよ」といって並ばせる 靴を脱ぐ子・・・「おしまいにすよ」と声をかける	滑る側の援助をする 手をひいて滑ることを援助している 怖がった子を抱く 抱きながら、他の子に声をかける 抱きながら、滑り台から離れ、他の子の様子を確認しに行く 抱いていた子を三輪車に乗せ、一人で遊び出したので、他の子に囲わる	
10:20	帽子が脱げた子にかぶせる 花壇の水やりでできた水溜りに入り、裸足で遊びだす子 をサポート 8人 順番に保育室へ誘う	オムツ（パンツ）の交換 3人	4歳の子の要求で用具入れの中から何かを探す 4歳の子と話し聞かせる じょうろを持っている子に畑に水やりをすることを促す 水道で、じょうろに水を入れてあげる 子どもが畑に水をかける様子を見守る 立ってあたりを見回し、他の子の様子をうかがう 子どもと手をつなぎながら、じょうろをかたづけ	
10:25	足洗い用たらいと足拭きタオルを準備 水溜りで泥んこになった服を脱がせる 3人 足をたらい水で洗う 3人 足を拭く 3人	足あらい10人 手洗いの確認 順番に洗いお部屋に入れる	滑り台のところから駆け寄っていき、滑り台をしている子どもの援助をする ボールを持っている子ども（1人）にボールを投げてあげたり、ひろったり、相手をする ボール遊びに飽きてしまった子に他の遊びに促す	
10:30	子どもが自分で特参したシャツズボン上着の着脱援助	着替え 2人 + 3人「待っててね」「着替えだしてきて」	押し車のところで窪りこんでいる子に声をかける 門のところですつと、押し車に乗って、外ばかり見ている子を抱いて園庭の中央に連れてくる 抱きながら、部屋の前に連れて来て、靴を脱がせ部屋に入るように促す 順番に部屋に入るようにするため、部屋の入口の様子を見ながら、子どもを一人一人声掛けしている 入りたがらない子と追いかけっこ遊び見たいにして、促している	
10:35	排泄を促す声をかける 3人 拒む	手洗い1人	電車ごっこを始めた子（2人）には、ぐるっと回ってき	

	<p>手洗い援助 室内遊び 人形をおんぶひもで結わえる 4人 ままごとコーナーで応答する 室内6人いる 人数確認</p>	<p>着替え1人 (タンズから着替えを出す)</p>	<p>たら部屋に入るように声をかける 押し車で遊んでいる子を抱いて、押し車を持って片付け、片手で抱いたまま他のこの手を引いて部屋の前に連れてくる 電車ごっこの子どもを部屋に入るよう促す 靴を脱がせ、ぼうしをかたづけける 園庭に戻り、一人を連れてくる ズボン脱がせ、パンツ一つにし、足を洗わせて部屋に入れる (他の保育士と連携)</p>
10:40	<p>ままごと応答 絵本を読む 園庭側から一人でトイレにいる子に気づき様子を見る 自分では対応できず、他の保育士を呼ぶ 保育室の子らに絵本読みを続ける 鼻汁拭き</p>	<p>手洗い 衣服の着脱 「ボタンを留めて」「自分で着れたね」</p>	<p>園庭に戻り、走って行って一人を抱いて連れてくる 園庭の隅で、押し車からなかなか離れない子のところに行って、話かけ、部屋に戻るようにはさせる ズボンを脱がせ、足を洗い、タオルでふき部屋へ入れる 体の砂を落とす 靴を片付ける 帽子を片付ける 足ふきタオルをまとめて洗濯機の中に入れる</p>
10:45	<p>絵本を読む ひざに2人腰掛け、周囲に3人 保育士の肩や体に子ども ものが触れている。 園庭へ行くことを他の保育士へ声で伝えていく 園庭より電車やレールを運んでくる</p>	<p>手洗い4人 着替え3人・・・2人の保育士が連携しながら着替えをスムーズにさせている 着替えた子から絵本コーナーたままごとコーナーで遊ぶことを指示 絵本へ促す 3人から5人になる 人形ごっこ2人・・・見守る</p>	<p>部屋に入る トイレの前にいる子のズボンををはかせる (2人) トイレの前にある汚れたズボンなどをたたき、各自の汚れもの入れに入れる トイレから出てきた子にズボンををはかせる 声掛けしながらティッシュも脱がせ替えさせる</p>
10:50	<p>電車の取り合いで喧嘩仲説 ままごとコーナーで見守る おんぶ紐で人形をおんぶひもさせる 2人のトランプル発生仲説し、女児をひざに座らせる 着替え衣類の打ち合わせ</p>	<p>絵本から電車ごっこへ移動する子と関わる1人・・・線路を出してやる、つないでみせる</p>	<p>汚れものを片付ける 子どもの汚れもの入れに入れる 保育室の中での遊びの援助 電車のおもちやで遊ぶ子に関わりながら、そばにいる保育士と打ち合わせを行っている 線路をつなげる手助けをしている 急いで、他のこのところに行き、喧嘩の仲説をする 膝に乗せ頭をなでてあげる 膝に乗せながら落ち着くまで一緒に関わる</p>